



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

医療法人 天仁会	代表者	平良 直樹	法人・事業所の特徴	医療法人設立の介護事業所で特に認知症の医療連携、相談に特化している 開設(建築)10年目の施設であるが事業所空間は清潔感があり環境が整っている 小規模多機能居宅介護事業所と2ユニット型の認知症対応型共同生活(グループホーム)が同一建物内にある地域密着型サービスの複合施設です。
事業所名 小規模多機能ケアホーム うえの家	管理者	玉城 めぐみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>継続して自己評価を実施、活用していくため、職員全員参加出来る、月例ミーティング内で実施方法について検討する</p> <p>2020年度の自己評価実施計画 2020年9月自己評価研修会 2020年10月自己評価実施 2020年11月資料説明、配布等 2021年1月外部評価 2021年3月改善計画報告等</p>	<p>自己評価に関しては予定とおりに実施された、今年度は全職員での自己評価を実施できた。</p> <p>各職員の意見、評価内容は昨年より向上している</p>	<p>前回の改善計画について、具体的な取り組みが実施されているか不明な方がいたので、運営推進会議にて丁寧な説明を心がける</p> <p>自己評価内容「できている」が昨年より向上している</p>	<p>継続して自己評価を実施、活用していくため、全員参加する月例ミーティング内で実施方法について検討する</p> <p>2021年度の自己評価実施計画 2021年9月自己評価研修会 2021年10月自己評価実施 2021年11月資料説明、配布等 2022年1月外部評価 2022年3月改善計画報告等</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>事業所内に入りやすい工夫、しつらえとして、事業所内外の掲示物(季節飾りや花の植栽)は継続して実施していく</p> <p>2020年度は正面玄関前の空間づくりに努める</p>	<p>事業所入口に設置した、地域掲示板に季節案内、介護相談などの情報を掲示し、地域の方々が事業所内に入りやすい工夫を行ったが、With コロナ時代において、2020年度は地域住民の来所は減ったが、通りに面した花壇の手入れを行う等、地域を意識した環境づくりは行えた</p>	<p>夜間街灯の少ない通りで、事業所の明かりが街灯を代行している</p> <p>事業所全体の清潔感が保たれている</p>	<p>事業所内に入りやすい工夫、しつらえとして、事業所内外の掲示物(季節飾りや花の植栽)は継続して実施していく</p> <p>2021年度はWith コロナ時代を意識したしつらえや環境整備を考えていく</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域交流を目的とした、地域連携行事（七夕会など）は継続して実施していく 地域交流室を活用した地域交流のイベントに職員派遣を行い、職員参加型の地域交流を実践していく</p>	<p>With コロナにおいて感染症予防の観点から、地域交流室の貸出は年間を通して制限した 地域交流が制限される中でも、運営推進会議において、地域包括支援センターの職員参加により地域情報の収集は行った また地域包括支援センターの上之屋地区圏域会議に管理者が参加し地域住民との情報交換を行った</p>	<p>目標を設定する時の評価方法として数値を設定すると良いとの提案がありました (例：地域交流回数など)</p>	<p>感染症予防を徹底し、市中の感染状況を確認しながら、臨機応変に地域会議に参加するなど地域交流に努める 運営推進会議を通じて、地域情報、地域課題を確認し、特に圏域の地域包括支援センターと連携していく 資料として、地域の情報を載せていく</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>2020 年度も地域行事への参加、社会見学等は継続して、年間プログラムで計画し、実施していく 民生委員・児童委員と連携し、参加型の地域資源を活用していく</p>	<p>With コロナにおいて地域に向く活動は制限されたが、ドライブなど車中から地域を回る活動は継続して行い、まちの様子をご利用者と確認する取組みを行い、生活支援の検討を行っていった</p>	<p>初期支援において、より具体的な意見聞き取りやもう一步踏み込んだ支援検討すると良いとの提案がありました</p>	<p>感染症予防を徹底し、市中の感染状況を確認しながら、どのように地域に向いて本人の暮らしを支える取組みが行えるか、会議などで話し合い、実践していく</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議において、報告や情報共有のみでなく、積極的に意見交換できるよう取り組んでいく</p>	<p>運営推進会議で、身体拘束等適正化について、毎回実施状況を説明し、見識者の意見を収集するなど、法令遵守の場として、運営推進会議を活用できた 具体的なケースについて、課題を共有し多くのアドバイスを得た</p>	<p>参加者がそれぞれの視点から、色々なアドバイスをする雰囲気ができている 今年度は感染症予防からご利用者、ご家族の参加が減ったことは致し方ないことである</p>	<p>運営推進会議において、報告や情報共有のみでなく、ケース個々課題や事業所運営の悩みなどを共有し、意見交換やアドバイスを活かしていく</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>年間計画策定による防災訓練（消防訓練含む）の計画・実施 独自の試みとして、地域交流室を活用した地域との防災避難所訓練「防災ミニキャンプ」を計画する</p>	<p>防災訓練（消防訓練含む）については、年2回の実施を行い、運営推進会議内にて実施内容を報告した 企画した「防災ミニキャンプ」は感染症予防から中止した</p>	<p>防災計画の共有が運営推進会議内で行われていない 防災計画を事業所内掲示しているか確認がありました 食料備蓄状況の確認がありました</p>	<p>年間計画策定による防災訓練（消防訓練含む）の計画・実施 防災計画（消防訓練含む）を作成した場合は運営推進会議にて情報を共有する 〇〇、地域の自治会会長に参加してもらった等</p>